

令和4年2月定例会会議録

(令和4年2月21日)

八代市教育委員会

八代市教育委員会 2 月定例会会議録

- 【開催日】 令和4年2月21日（月）
- 【場所】 八代市役所本庁4階 403会議室
- 【出席者】 北岡 博 教育長
渡邊 裕一 教育委員
松永 松喜 教育委員
奥村 留美子 教育委員
早田 蛍 教育委員
- 【出席職員】 中 勇 二 教育部長
橋口 幸雄 教育部次長
福本 桂三 教育部次長
松川 由美 教育部理事兼教育政策課長
高嶋 宏幸 学校教育課長
竹下 圭一郎 教育施設課長
田中 智樹 教育部理事兼生涯学習課長
入佐 正夫 教育サポートセンター所長
松村 哲治 博物館未来の森ミュージアム副館長
丸山 尊司 文化振興課長
米崎 寿一 文化振興課長補佐兼文化財係長
- 【事務局】 草野 弥生 教育政策課教育政策係長
西村 妙子 教育政策課参事
- 【審議事項】 <議案案件>
①八市教委議第10号 八代市文化財保存事業費補助金交付要綱の一部改正について
②八市教委議第11号 八代市教育委員会組織規則の一部改正について
③八市教委議第12号 八代市学校給食施設再編整備方針（案）について
④八市教委議第13号 八代市教育委員会教育長に対する事務委任規則の一部改正について
⑤八市教委議第14号 八代市 EdTech 推進基本方針（案）について
- <報告案件>
①報告第3号 八代市立幼稚園規模適正化等審議会から教育長への答申書の提出について

1. 開会 (午後2時00分 開会)
2. 会議録の承認 令和3年11月定例会、12月定例会
3. 教育長報告 前回の会議から今回までに参加した行事や事業、委任された事項などの中で特に重要と思われるものについて報告
4. 議題
〈八市教委議第10号〉 八代市文化財保存事業費補助金交付要綱の一部改正について

丸山文化振興課長 補助金の額の上限を変更するに当たり要綱の一部を改正する。

奥村教育委員 具体的な金額はいくらぐらいになるのか。

丸山文化振興課長 整備の内容により事業費は変わってくる。例えば、今年度行われた笠鉾の水引は、総事業費が1,150万円程度で、そのうち保存振興会の町内の負担は、10分の1の115万円程度である。県の補助がなくなるとその倍額になるので、それを抑えるために市の補助を増やす。

奥村教育委員 大事なものは、遺産なので、お金があるから補助できる、お金が無いから補助できないということになると残念である。恒常的な補助体制ができるように八代市民の理解を得ていること、多くの人の理解を得ていること、大事なものをみんなで守っていこうということが基盤にあってのお金の問題だと思う。担当課は大変だが頑張ってもらいたい。

渡邊教育委員 令和4年度以降の予算措置が行われないことについて、県からどのような説明があったのか。

米崎文化振興課長 国庫補助の随伴補助については、文化財に限らず削減対象になっていた。これまで頑張ってもらっていたが水害や地震で県の財政が難であるということで、県教育委員会から内示をもらった。

【議案第10号 承認】

〈八市教委議第 11 号〉 八代市教育委員会組織規則の一部改正について

松川教育部理事兼 教育政策課に新たな係を設置するに当たり規則の一部を改
教育政策課長 正する。

奥村教育委員 ハード面が整い、これからは内容充実であるというのであれば、学校教育課に新しい係ができるのではないかと思う。今までの経験で、教育政策課、学校教育課、教育サポートセンターがいろんな連携をしながらやってこられているので、その意味では教育政策課に設置することになったんだらうと思うが、連携協力されることの具体的な中身と教育政策課に係が置かれることになった理由は何か。ICT教育の推進となれば、内容に関するところだと思う。今までの定例会でも、ハードは整ったものの、先生方に研修をしているがどう活用するかはまだまだこれからというような報告を受けているので、学校現場を推進していくことの一番は担任の先生たちだと思う。その先生たちがICTの教育推進にかかってどういうふうに捉えていかれるのか。

松川教育部理事兼 今回の係については、実動部隊と考えてもらいたい。計画や
教育政策課長 方針の策定、認定校などについては学校教育課が主になって対応している。その方針や計画に基づいた動きをどうするか、先生たちの支援をどうするか、機器はどのようなものを導入するかと実際考えて動かしていくのが今回設置する新しい係になる。方向性については学校教育課が主で対応し、それに対して、各学校を回ったり、出前授業を行ったりなど実際の動きをしていくのが、教育政策課の今回の係とすみ分けていく。

奥村教育委員 ICT支援員の方がいると思う。ICT教育の実情を実感しているのは、使っている先生たちもだが、それを傍で見ているプロの支援員の方だと思う。昨年12月の会議で、支援員の実働状況や反省点を今年度集約されて、支援員の活用やICT教育の方向性を出す予定とのことだった。支援員は、今までどおり学校教育課になるのか。

松川教育部理事兼 支援員は学校教育課であるが、新しい係ができたら、教育政
教育政策課長 策課に席を置いて、電話の問い合わせの内容も聞こえて、肌で感じながらわざわざ会議をしなくても、その場で一体になって業務をすることで、今の八代市の流れや課題が分かるようになる。

福本教育部次長 補足として、学校教育課と教育政策課のどちらに新しい係を置くのがいいのかということについては、多くの協議を行ったが、予算的な部分を今後いろいろ協議する必要があるというときに教育政策課がいいのではないか、協議しやすいんじゃないかということで、教育政策課に新しい係を置くと進めた次第である。

渡邊教育委員 I C T 関連の専門部署があるというのは大変心強いと思った。教育政策課の新しい係には、指導主事は置かない方向なのか。

北岡教育長 指導主事を 1 人配置する予定で考えている。

福本教育部次長 希望としては、指導主事を置きたいと思っている。

奥村教育委員 ハードの整備が整って、後は内容面である。使い方に困ったときには個別にという部分もあるが、八代市全体として強みになったところはどこか、まだまだ改善すべき点はどこか、ということを総合的に見ていく係の設置だと思う。タブレットを使いきれず、返す学校があるというのをテレビで見た。今まで研修を組んで、子供たちの確かな学力、思考力、判断力、自ら学ぶ力を伸ばす一つの手立てにするという I C T のいいところをいろんなところに説明しながらようやくここまで来て、あと一つ、内容的なこれがあったという実感を学校は、関係課の指導で持っていると思うし、学校訪問でも使ったこともなかった先生が、見事に活用されているのを見たが、必要な時に効果的に活用できる I C T が広がっていくためには、内容面、指導面が、ここにこんな活用をすると、ということで渡邊委員も指導主事の配置について尋ねられたと思う。指導主事の配置が無理なら、学校教育課と教育サポートセンターの連携を今まで以上に密にしてもらおう。指導主事はいたほうが動きやすいし、言いやすいし、聞きやすいと思う。I C T 教育を推進する係である以上内容的なところに打ち込んでいく担当者がいないと、という感じがした。

早田教育委員 タブレットは、今後は特別ではなく、日常的に使うものになると思う。今は、学校のタブレットは家で充電するだけで、家では別のタブレットを使っていて、日常的に使うものになっていないと思う。熊本市内で防災講座をした時、メモを取るのには、子供たちに任せてあって、タブレットに打ち込んでもいいし、

書きこんでもいいし、ノートでもよかった。聖火リレーのトーチを見せると、自由にタブレットで写真を撮っていた。このように日常的に使っていることが子供たちのこれからどう使っていくかにつながっていくと思うので、日常的に使えるようになることよと思う。そのためにこの新しい係がそうなるのかと思う。NPO法人のICTサポートスクエアがあると思うが、これは、ICT支援員のことなのか。

松川教育部理事兼
教育政策課長 ICT支援員、授業サポーターのことである。

高嶋学校教育課長 ICTサポートスクエアに業務委託をして、そこから派遣を
してもらおうという形をとっている。

早田教育委員 サポートスクエアの方が支援をされる。新しい係もサポート
されると思うが、どういう役割があるのか。違いというか、サ
ポートされる方がいるのに、どうしてこのような係が作られる
のか。

松川教育部理事兼
教育政策課長 今回の新しい係の設置については、ICT教育に関係するも
のは1カ所で集約して対応しようということである。タブレッ
ト導入、ネットワーク環境の整備などハード面は、教育政策課
が主になり担当している。学校教育課は、先生方への利用の働
きかけや授業展開などのソフト面を担っている。教育サポート
センターは、先生方への実際の研修の部分を担っている。学校
現場からお尋ねがある場合に、どこに尋ねたらいいのかとい
うものもあるし、ハード整備をするに当たっても、学校現場はど
ういうものを希望しているのか、どちらがいいかと選択する
ときなど、今も学校教育課の指導主事にも尋ねているが、それが
一体的にできるように、授業現場を知っている先生に日常的に
その場においていて、八代市のICT教育を推進していきたい
と思っている。毎年度児童生徒が変わるのでアカウントを変
更するなどハード面の整備もしていくし、授業展開も計画・方
針は、学校教育課だが、授業で実際に使ってもらおうというの
は新しい係で進めていく。研修のセッティングは教育サポート
センターだが、学校から空き時間などに指導してもらえないか
などの話があったときは、出前講座のようなものを新係の指
導主事やICTサポートスクエアの支援員に行ってもらおうな
どを考えている。また、サポートスクエアの支援員は日常的な
授業の中で支援をしてもらおう、といったすみ分けを行う。

奥村教育委員　　そうであるならば、なおのこと新しい係に指導主事がないと言にくいと思う。必要になったときに関係課に新しい係の担当者が伺いを立てないといけなくなってしまう。フラットな連携状態が図っていけるのであればいいが、ハード面でもソフト面でも動ける人がいないと、動きが止まってしまう気がする。指導主事など指導面に特化した人がいると教育政策課の中でも動きやすいと思う。

橋口教育部次長　　係を作るとなった時から、指導主事の配置については、強く要望している。

北岡教育長　　指導主事の配置を考えているが、正式にはまだ決まっていない。できるだけ円滑に進んで行くように努めていきたい。

【議案第 11 号 承認】

〈八市教委議第 12 号〉　八代市学校給食施設再編整備方針（案）について

松川教育部理事兼
教育政策課長　　八代市学校給食施設再編整備方針の最終案について資料により説明

早田教育委員　　具体的に、どこがなくなって、どうなるかというのがわからない。

松川教育部理事兼
教育政策課長　　方針としては、単独調理場と学校給食センター合わせて 14 カ所を学校給食センター 3 カ所に統合再編を考えている。エリアは、今後の児童生徒数の推移を考慮して決定していく。建設費用が高額になるため、3 カ所を一度に建設するのは難しいため、まずは 1 カ所、どこから着手するかも含めて基本計画で調査をしていく。

早田教育委員　　単独調理場がなくなると、配送された給食に不安を持たれると思う。学校訪問で給食を食べた時に、意外と温かくておいしいものを食べられた。ガラッと変えるのではなく、月に 1 回配送の給食を食べるなど、徐々に受け入れてもらえるような体制、努力をされるのがいいのかなと思った。さらに、給食はすごく大事なことで、おいしく食べるということが、大人になっても心に残っていることで、毎日のことだと思う。去年の学校訪問で、この給食だけしか食べられない子供もいると聞いたので、子供にとって、とっても大切なところだと思う。3 つに集

約したことで、冷えておいしくないとか、給食を食べることを拒否する、苦手意識を持つなどが起こらないでほしい。また、空調設備がないということに驚いた。毎日使うところで、衛生的なところで大事な部分である。先日、体育館に避難所として、空調設備を設置するという案があったが、いつ起こるかわからない、何年に1回使うかわからない、被害があれば使えないところに空調を設置するのではなく、日常的に子供たちに直結する部分にお金を使ってもらいたい。3カ所だけというのはどうなのかと、体を作る健康面を考えた時に率直に思った。

松永教育委員 再編成の方針のところ、泉第八小は、現状のままか。

松川教育部理事兼教育政策課長 3センターとは別枠で考えている。単独調理校のままである。

松永教育委員 泉第八小は、条件が違うので、まず調理する人の確認をしたほうが良いと思う。おられなくなるかもしれないし、何年か後にはできなくなるなど、あるかもしれない。いろいろ出てくると思うので、予備の人がいるのかいないのか、そこも考えて検討されたほうが、長期的にできるのではないかと。すぐ交代要員ができないということはお存じだと思います。できるような場所でもないの、そのところを考えて、取り組む時に十分検討していただきたい。2時間以内で配送される所はいいが、泉第八小は、2時間以内の配送も難しいし、配送自体も道路が困難で予定どおりできるかわからない状況である。その辺の検討をお願いしたい。

福本教育部次長 早田委員が言われたとおり、特に単独校については、今まで単独校で提供しているため、ハードルがあるのかと感じている。来年度は、単独校の保護者に対し、丁寧に説明をしていきたいと考えている。その他納入業者の調整も今後行う必要がある。来年度の基本計画の予算も内示が出されている。具体的には来年度の予算の中でいろんなパターンを考えて具体的な部分を提示していきたいと思う。丁寧に進めていきたい。

渡邊教育委員 今後、基本計画を作成されるということであるが、概ね何年度ぐらいを最初の新設年度の目標にされているのか。また、これにより調理員等の増減が起きてくるのではと思った。さらに、保護者から徴収する給食費は、現在統一されていないと思

うが、徴収金額が今後どうなるか気になった。また、今後学校規模適正化の方針も作っていかれると思うが、それとの関連もとても重要になってくると思う。

【議案第 12 号 承認】

〈八市教委議第 13 号〉 八代市教育委員会教育長に対する事務委任規則の一部改正について

高嶋学校教育課長 学校運営協議会委員の任命又は委嘱について教育長へ委任するに当たり規則の一部を改正する。

質問等なし

【議案第 13 号 承認】

〈八市教委議第 14 号〉 八代市 E d T e c h 推進基本方針（案）について

高嶋学校教育課長 八代市 E d T e c h 推進基本方針（案）について資料により説明

奥村教育委員 本年度中に推進計画を策定されるとのことだった。本年度は残り少ないが、策定委員会はどんな方たちが何回ぐらいに渡って検討されるのか。

高嶋学校教育課長 関係課、デジタル推進課等からメンバーに集まっていたいて、会議を月 1、2 回行っているところである。ほぼ形になってきたところで、ICT 推進アドバイザーにもご意見をいただいて、形になってきている。計画の策定を急いでいるところである。

中教育部長 補足として、この基本方針案は、8 月定例会で説明したところだったが、市の内部規程による手続きを経てパブリックコメントを実施したため、本日提案したところである。具体的な推進計画の策定については、8 月定例会で承認後、同時進行で進めている。十分検討する機会を得ている。

早田教育委員 11 月に委員になったため、初めて聞いた。どういうことを目指すかはわかるが、具体的にどういうことをされるか簡単に説明してほしい。

高嶋学校教育課長 推進計画の内容については、何をいつまでにどれだけ取り組むか。学校情報化の優良校認定を中心に取組を進めている。令和5年度までに100%の優良校認定としている。現在9校が既に認定を受けている。認定申請済みが5校、本年度中に申請予定が12校と、かなりのスピードで進めていただいている。そのような活用をどう進めていくか、授業サポーターがどんな取組をして進めていくか、その研修をどうするかなどである。

早田教育委員 先生たちに研修を行うということか。子供たちが何かをするということか。子供たちがタブレットを使って発表会をするのか。また、情報化の優良校認定は、どういうことがあれば認定されるのか。

松川教育部理事兼教育政策課長 今週木曜日に開催する総合教育会議のテーマの一つに教育分野のデジタル化がある。今日配付した総合教育会議の資料の中に学校情報化認定の資料が入っている。認定は、ハード面の整備、授業関係など、多方面からの取組になっている。

高嶋学校教育課長 優良校認定を受けることを推進することで、先生たちの活用を促していく。子供たちに情報活用能力、日常的にいろんなところで使うという教育方法を目指している。

早田教育委員 資料を読んでおく。

【議案第14号 承認】

〈報告第3号〉 八代市立幼稚園規模適正化等審議会から教育長への答申書の提出について

高嶋学校教育課長 提出された答申書について資料により説明

奥村教育委員 答申の最後に、「全ての就学前の子供たちにとって最善の利益につながるよう」とあるのは、とても大きな言葉のように感じる。幼稚園教育の要素を今後、数だけで言うと、存続そのものが厳しい中で何園か残して、幼稚園教育と保育所保育の効果的な連携という言葉でずっときていた。そういうことからすると、この文章の重みを踏まえて、今後就学前教育の在り方について検討していくことが、とても大きな課題になる。どんな場でどんな人たちが何を目標に話し合っていくのか、誰もが考えていけるような体制作りをぜひよろしくお願ひしたい。

4. 連絡事項
- | | |
|------------|---|
| 教育政策課 | 総合教育会議について、臨時会について |
| 学校教育課 | 中学校卒業式の告辞について、県立高校入試（後期）について、部活動の中止について |
| 生涯学習課 | 第3回地域学校協働本部会議（オンライン）について |
| 教育サポートセンター | 新2年目研修、スキルアップ研修終了について |
| 博物館 | 冬季特別展覧会について、企画展について |
| 事務局 | 3月定例会日程確認（3/28 14:00～） |

5. 会議録署名委員の指名
- 松永委員・早田委員

6. 閉会
- （午後3時41分 閉会）

令和 年 月 日

署名委員

記録者
